

令和元年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	附属特別支援学校における研究の成果を全国へ発信する取組
事業実施代表者名	校長 紀藤 典夫
実施附属学校名	北海道教育大学附属特別支援学校
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>本年度、本校ではこれまでの「学習評価」及び「支援スケールの活用」に視点を当てた研究をもとに、授業実践に基づいた学習評価を効果的な支援のもとで進めていくための研究を行ってきた。</p> <p>また、その成果を道内の特別支援学校で活用に結び付けるため、中標津支援学校の研究部とテレビ会議を行い、それぞれの学校での授業実践の交流を行った。さらに、釧路養護学校の公開授業研究会に出向き、授業検討を行った。</p> <p>また、7月に行った本校の公開研究協議会においては、中標津支援学校と釧路養護学校の両校それぞれに授業の取り組みについてのポスター発表を行ってもらい、本校だけではなく道内・道外の教員とも実践交流を行うことができた。</p> <p>公開研究協議会で行ったシンポジウムでは、「知的障がい教育における育成を目指す資質・能力」をテーマに、札幌大学の木村宣孝教授と星置養護学校の伊藤校長から、今後の知的障がい教育で育てたい資質・能力やそのための授業の在り方等について話題提供をしていただいた。学習指導要領が改定される流れのなかで、各学校が地域の特性を生かした教育の展開を進めていくための問題提起を行うシンポジウムとなった。</p> <p>さらにこれらの流れを受け、育てたい資質・能力について、函館市企画部の田中彩香主査と株式会社まちづくり五稜郭の久保一夫社長を招いたディスカッションを行い、地域の実情を踏まえた資質・能力を考える機会を設け、学校現場にとらわれない教育の在り方についてのディスカッションが実施できた。</p> <p>これらの研究成果は、道外の特別支援学校で行われる公開研究会に参加しながら情報提供したり、ポスター発表したりするなどし、研究内容の発信を行った。また、道内各地の学校において、講演会を通じて研究内容の情報提供し、各学校の特色ある教育課程の編成に向け、地域資源を活用する効果について説明を行ってきた。さらには、北海道教育委員会で行う「特別支援学校教育課程編成協議会」に参加し、他校との教育課程や授業の交流を行い、研究成果について情報発信を行っている。</p>
成果と課題 (活動の成果と課題に	本年度の研究では、「育成を目指す資質・能力と知的障がい教育の学び」をテーマに、それぞれの子どもたちに必要な力の育成に

<p>ついて、500 字程度で記述)</p>	<p>ついて教育課程に盛り込むことを目指してきた。その中で、子どもたちが育ち地域性、将来の地域の姿などを踏まえた検討が必要であることから、教育現場だけではなく他業種の専門家との研究を進めることに発展した。将来の子ども像だけではなく、将来の地域の姿を見据えた資質・能力の育成に向けたカリキュラム作りにつながっている。</p> <p>その研究内容を学会や公開研究会の場において交流し、意見交換する場を設けることができている。</p> <p>単年度での成果については、リーフレットに端的にまとめ、全国の特別支援学校に発信する予定である。</p> <p>今後、保護者や地域との教育課程について共有する方策を探るとともに、ICTの活用なども行いながら他校との授業づくりの共有を通し、本校の研究をさらに発信していけるのではないかと考えている。</p>
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500 字程度で記述)</p>	<p>本校の任務や本学の中期目標・中期計画の実現へ向け、大学および教職大学院との連携をさらに強め、引き続き本校の研究の様々な取り組みを全国、全道、地域へ発信していくことは必要なことと考える。また、開かれた教育課程を実現させるため、地域の将来をイメージした教育課程づくりをさらにすすめることも必要と考えている。子どもたちが将来社会自立をする地域をどのようにイメージするかを、保護者及び地域と共有しながら、授業づくりにつなげていく研究を進めていきたいと考える。</p> <p>今後はさらに、研究内容だけではなく道内の研修を望む地域において、特別支援学校や特別支援学級担当者の専門性向上に向け、本校の研究成果を踏まえた「児童生徒理解」及び「授業改善」等の研修や相互研究に発展する可能性は大いにあると考える。</p> <p>本校で実施する授業公開や公開研究協議会を地域に公開するとともに、教育実践内容の拡がりにさらに取り組んでいきたい。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	<p>函館新聞及び北海道通信に公開研究協議会について掲載された。また、企業や行政とのディスカッションの様子については北海道通信社の取材を受けている。</p> <p>その他、本校ホームページ上に、研究活動において研究の外部発表への取り組みと、入試情報にける出願状況、活動の様子等において随時更新掲載している。</p>

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。